

JASと消費者

「JASマーク付製品は、よい商品の目印！
選んで安心です」



一般財団法人
全国調味料・野菜飲料検査協会
事務局次長兼東京検査所長
小後摩 美絵

て簡単に解りやすくご紹介
させていただきます。

JASマークとは、一
言で表すと「商品の品質
や作り方を保証している
マーク」です。

JASマークを付ける
には、工場が国の基準を
満たしているか国の認め
た機関がチェックして

「JAS認証工場」にな
る必要があります。

消費者の皆様が、商品
を手にとっていただく時
に目しているJASに
ついてお話をさせていた
きます。

JASマークが付いた
商品は昔からあるので、
皆様も安心して買物
ができる目印であること
はご理解いただいでい
ると思います。

しかし、具体的に説明
できるかというところ
やなのではないでしょ
うか。

「JASについて」
品目ごとに色、香り、味、

成分などの品質について
JAS規格が定められて
いて、このJAS規格を

満たしていなければつ
ることが出来ません。

検査協会が、1カ月の
内に製造した製品ごと
に、品質に係るJAS規
格項目について検査を
しています。

このことは、第三者認
証といえます。

また、表示についても
チェックします。

定められた項目が正し
く表示されていること
はもちろんですが、消
費者に誤認を与える
ようなことが書かれて
いないかなど、厳しく
チェックしています。

JASマークには、一
般JASマークの他に
も「醸造酢」「にん
じんジュース」の4
つの品目について認
証しています。

次に、JAS制度の変
遷についてふれたい
と思います。

「次段の図参照」

特色JASマーク



有機JASマーク



JASマーク



らっしゃるのではない
でしょうか。

そのような中で、JAS
規格による検査に合格
した製品にJASマーク
を付けることが出来る
JAS制度は、食の安全・
安心に寄与してまいり
ました。

JAS制度は、戦後の
混乱による物不足や模
造食品による健康被害
等がありましたので、昭
和25年5月に生産指導
や品質改善を目的とし
た「農林物資規格法」
としてスタートしまし
た。

戦後の混乱が落ち着
いた後も、社会情勢に
よって農林水産業と消
費者の利益の保護を
目的として改正を重
ねてきました。

現在では、品質規格
他に、生産・流通プロ
セスや性能評価等の
新しい規格が出来て
国際化も視野に入
れた広がりを見せて
います。

JASマーク付製品
は、国や認証機関に
よりチェックを受けた
商品ですので、安心
してお選びいただけ
ます。

是非、お買物の際
は目安に加えていた
だきたいと思いま
す。